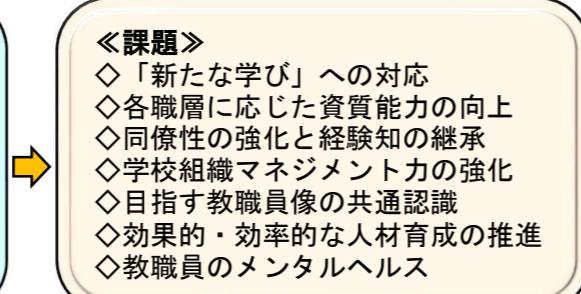
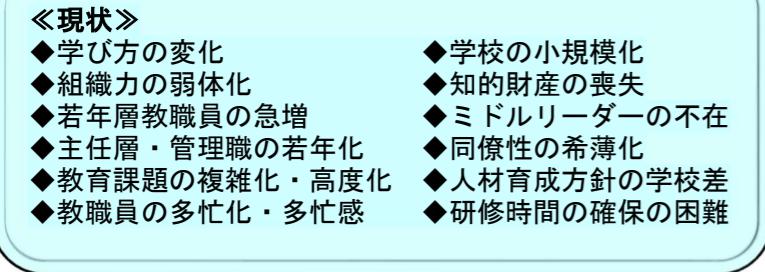
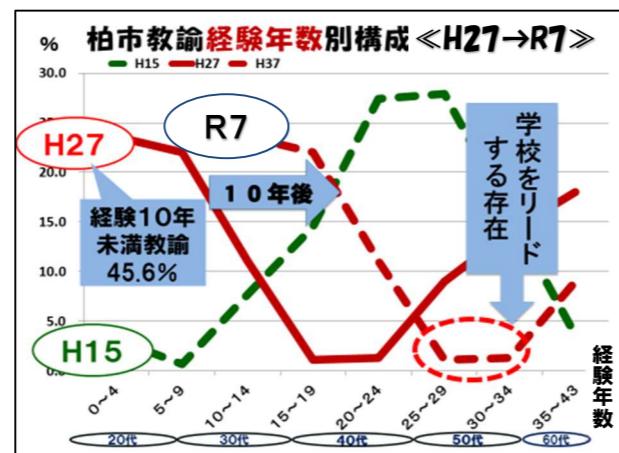
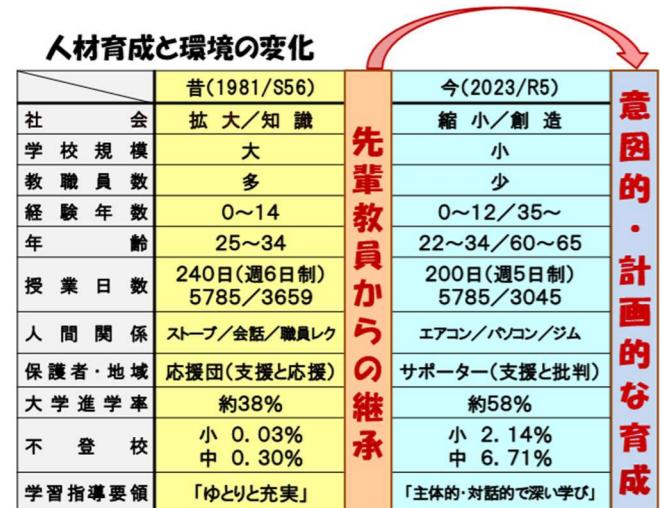


柏市教職員人材育成指針

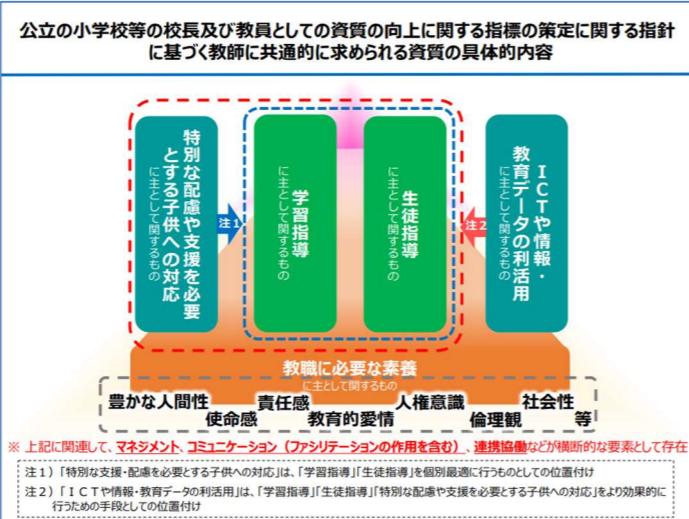
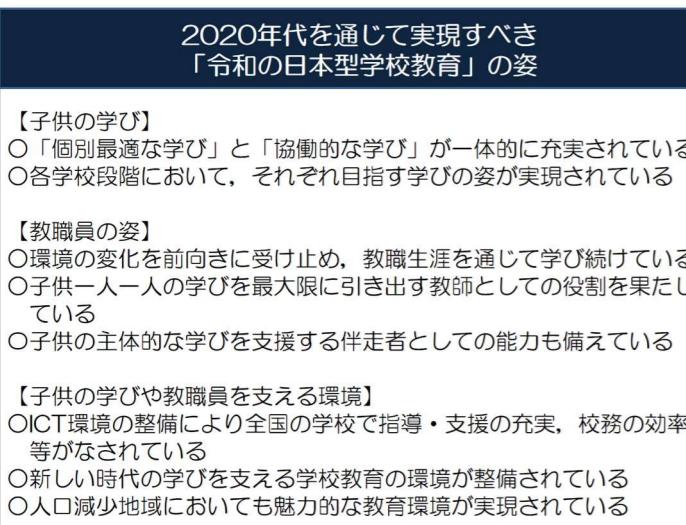
I 人材育成指針策定の趣旨

- 社会が急激に変化し、学校教育を取り巻く課題は複雑化・高度化し、今までの経験や方法では対応しきれない状況がある。
- 教職員の大量退職・大量採用により、指導力や指導技術の継承が困難な状況がある。
教職員の人材育成を意図的・計画的なものへ転換するため「柏市教職員人材育成指針」を策定する。

II 人材育成を取り巻く現状と課題



III 「令和の日本型学校教育」の構築を目指して（中教審答申）



IV 柏市の目指す教職員の姿

教育者としての愛情と使命感を持ち、相互に力量を高め合い、連携協力して課題を解決する教職員

V 人材育成基本方針

- 1 「柏市教職員人材育成指針」に基づいて、効果的・効率的な人材育成を図る。
- 2 教職員のキャリアステージに応じて資質能力の向上を図る。
- 3 社会の変化に対応した「新たな学び」を支える「学び続ける教職員」の育成を図る。
- 4 「校外研修」、「校内研修」、「自己研鑽」の3つが相互に関連し合い、補完し合う体制の整備を図る。

《これまでの人材育成》

- ◆求める教職員像（資質能力）が不明確
- ◆取り組むべき人材育成の方向性が不明瞭
- ◆各校の方針や個人の意欲に委ねて資質能力を向上
- ◆先輩教職員から知識・技術を継承

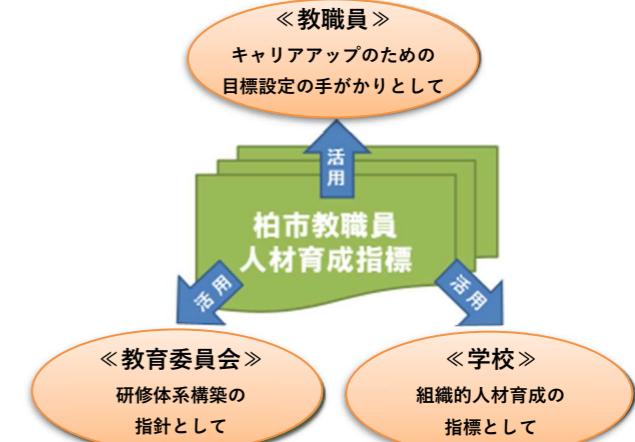
《これからの人材育成》

- ◆求める教職員像（資質能力）を明示
- ◆意図的・計画的な人材育成の仕組みを構築
- ◆「校外研修」、「校内研修」、「自己研鑽」の3つの視点から資質能力を向上
- ◆教職員相互が支え合い、学び合い、高め合う環境を構築

3つの学び（育成）の場の関連



「人材育成指標」の活用



VI 教職員に求める資質能力（19要素）

A 教職に必要な素養

- ①使命感・責任感・教育的愛情・高い倫理観・コンプライアンス・服務規律の順守
- ②社会性・コミュニケーション能力
- ③社会の変化への対応・広い視野・学び続ける意欲
- ④教職に関する教養

B 学習指導に関する実践的指導力

- ⑤教科等についての専門性
- ⑥授業実践・指導技術

C 生徒指導等に関する実践的指導力

- ⑦子供の発達過程や特徴の理解と信頼関係の構築・生徒指導
- ⑧教育相談・個別指導
- ⑨人権教育の推進・生徒指導上の課題への対応
- ⑩キャリア教育・進路指導

D チーム学校を支える資質能力

- ⑪教育課程の管理・運用
- ⑫校務分掌と連携・調整
- ⑬家庭や地域、関係機関等との連携・協働
- ⑭研修(研究)体制

E 特別な配慮や支援を必要とする子供への対応

- ⑮特別な配慮や支援を必要とする子供の理解
- ⑯学習上・生活上の支援

F ICTや情報・教育データの利活用等

- ⑰学習指導に関するICT利活用
- ⑱生徒指導に関するICT利活用
- ⑲ICTによる校務効率化